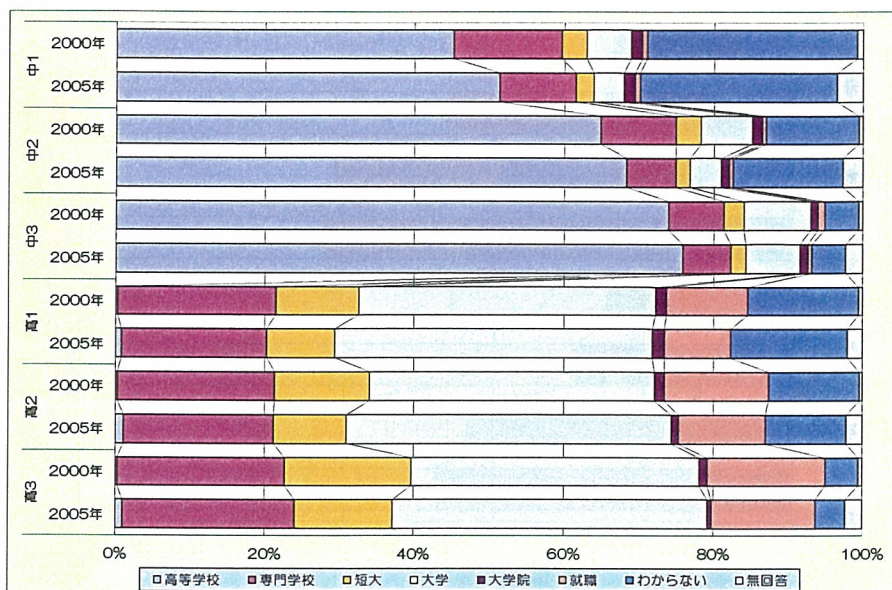
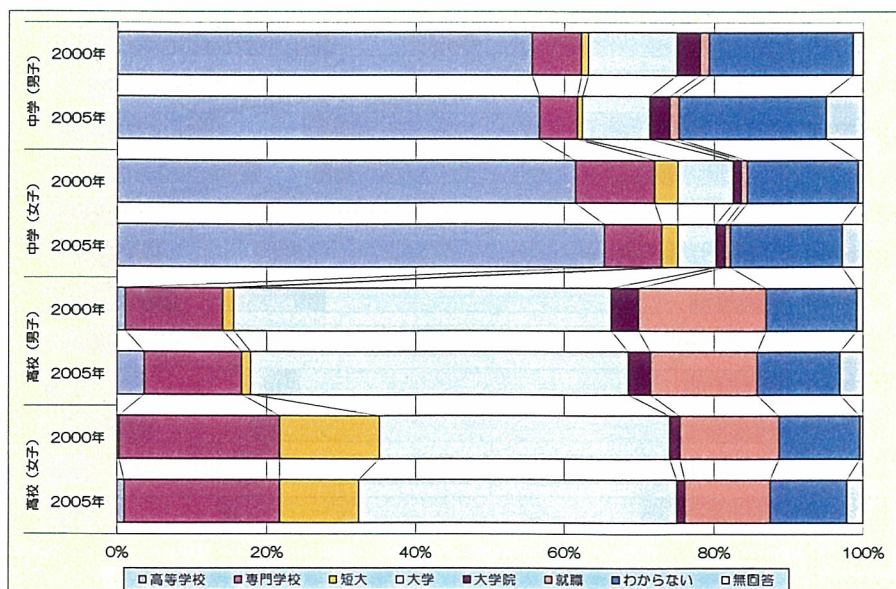


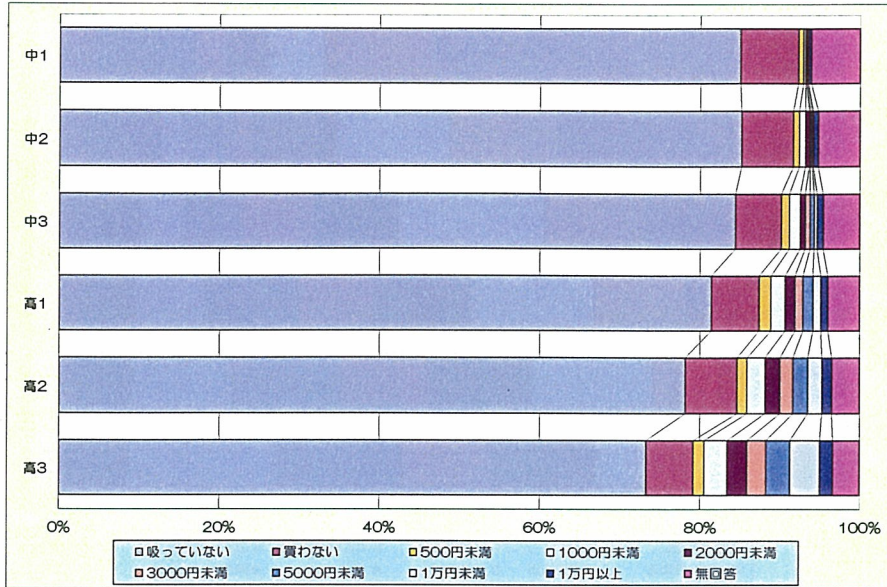
年次別、学年別 将来の希望進路（女子）



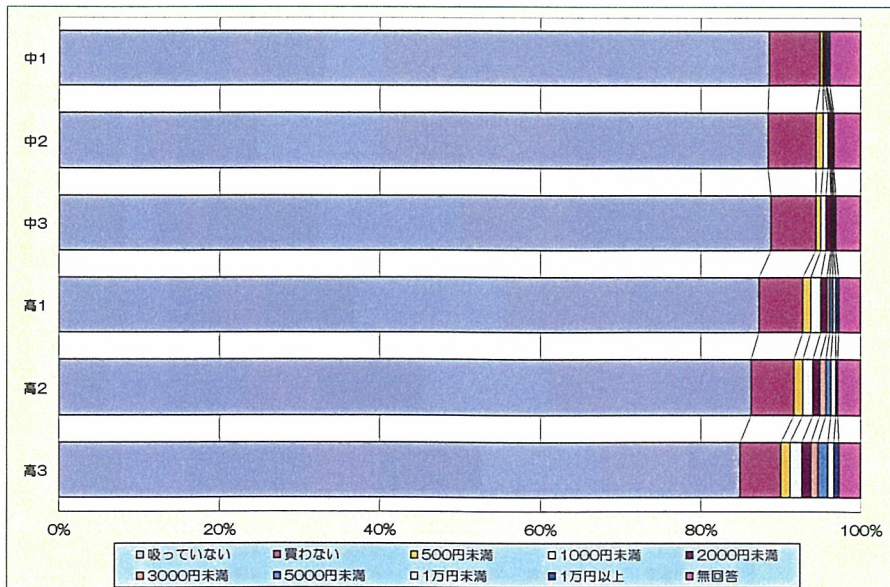
年次別、性別 将来の希望進路（合計）



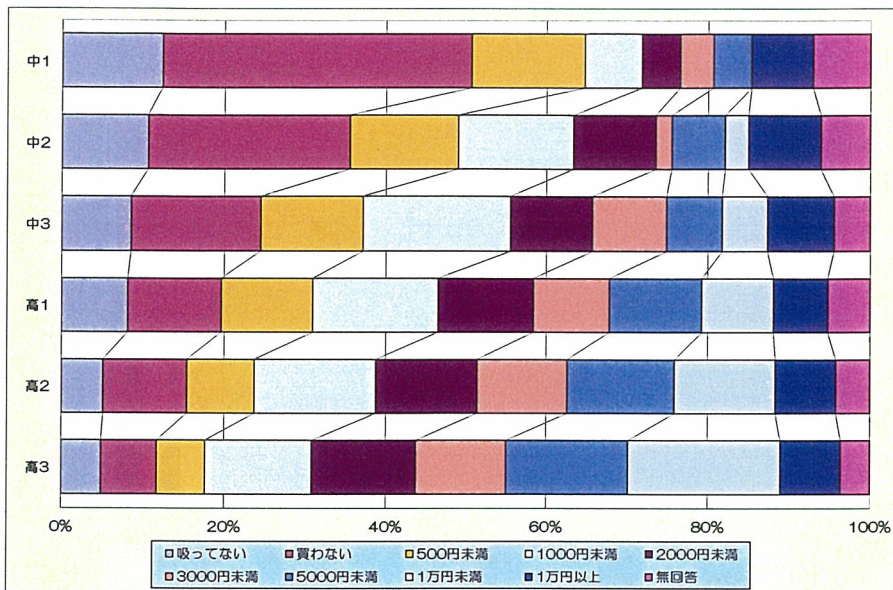
この30日間のタバコ代（全体）（男子）



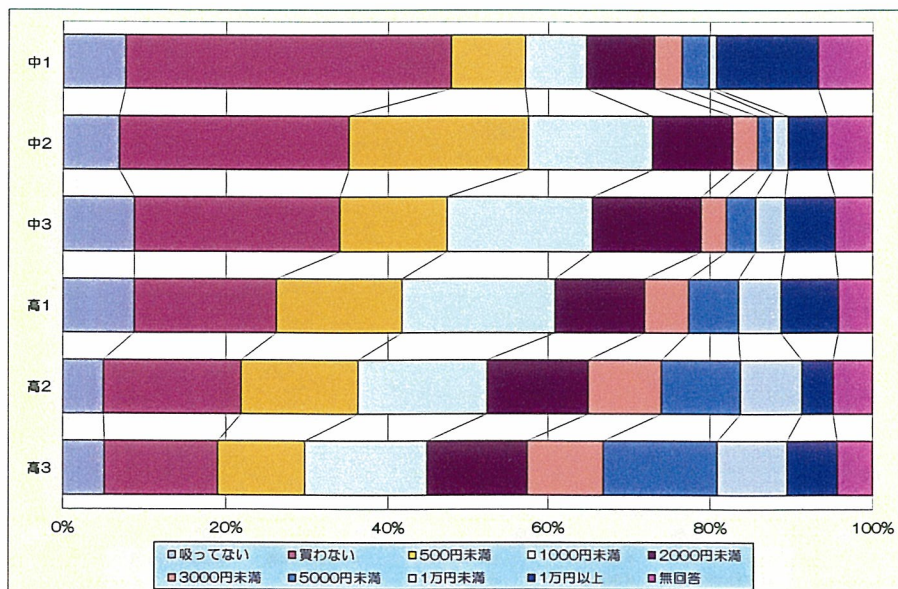
この30日間のタバコ代（全体）（女子）



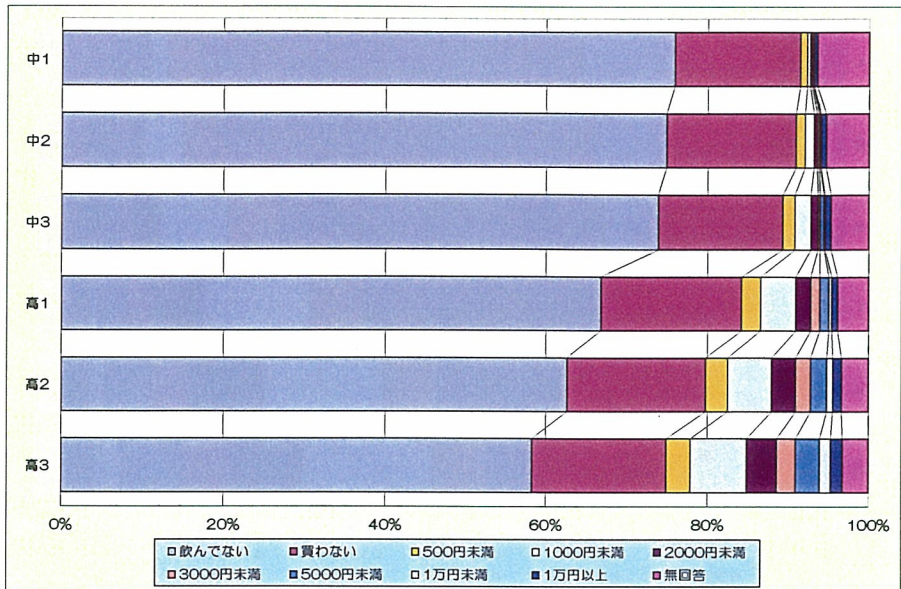
この30日間のタバコ代（月喫煙者）（男子）



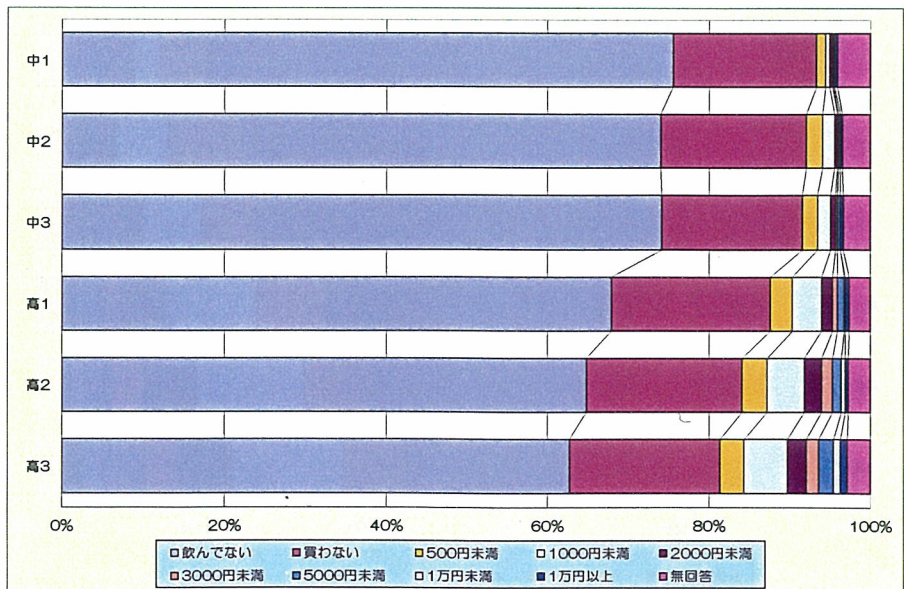
この30日間のタバコ代（月喫煙者）（女子）



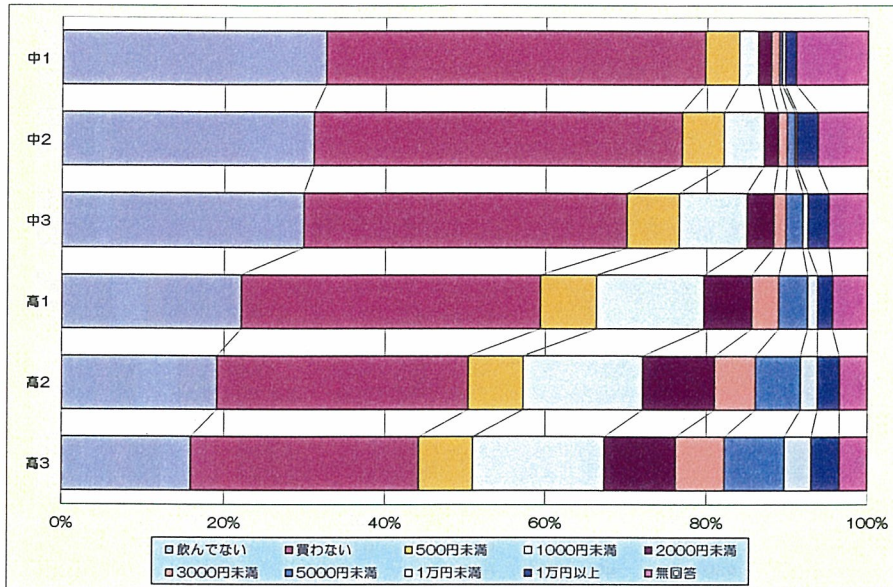
この30日間の酒代（全体）（男子）



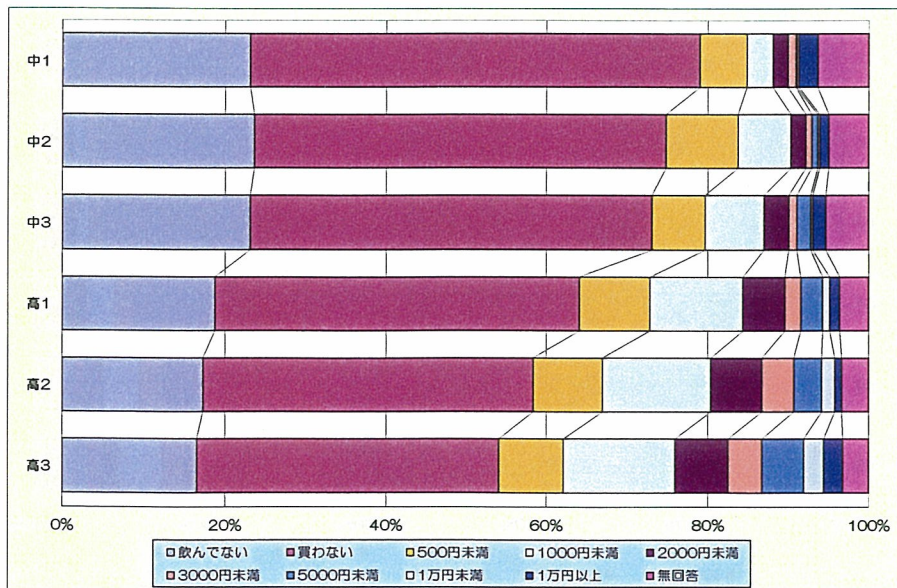
この30日間の酒代（全体）（女子）



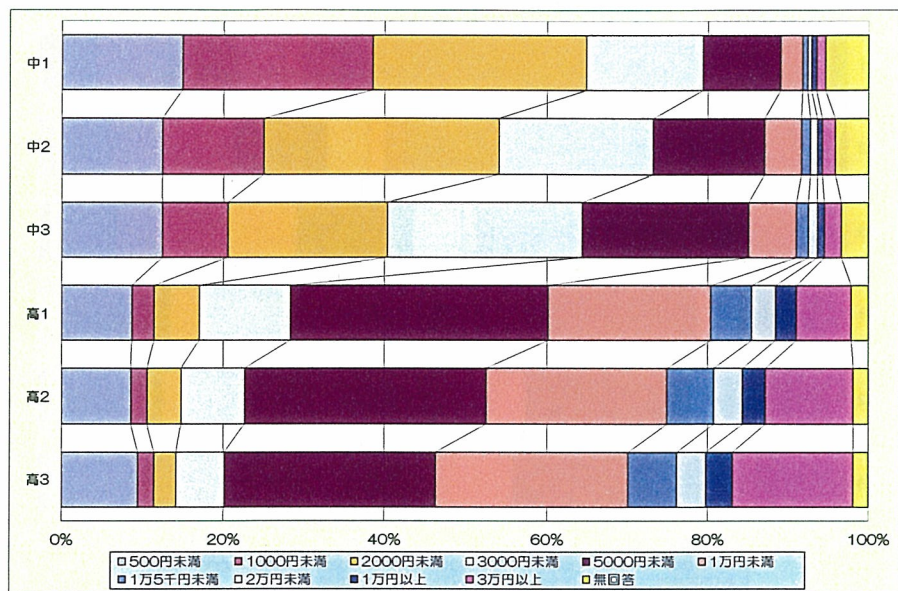
この30日間の酒代（月飲酒者）（男子）



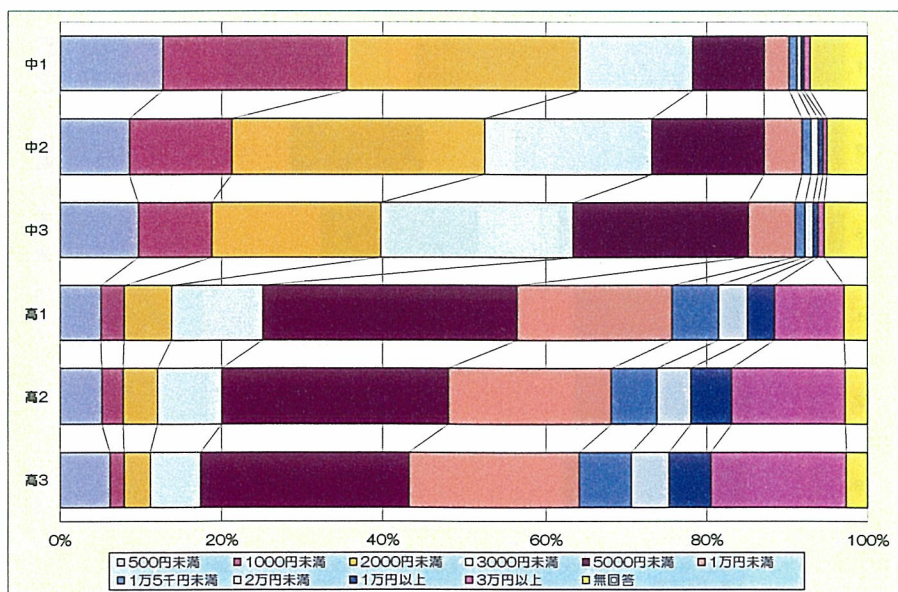
この30日間の酒代（月飲酒者）（女子）



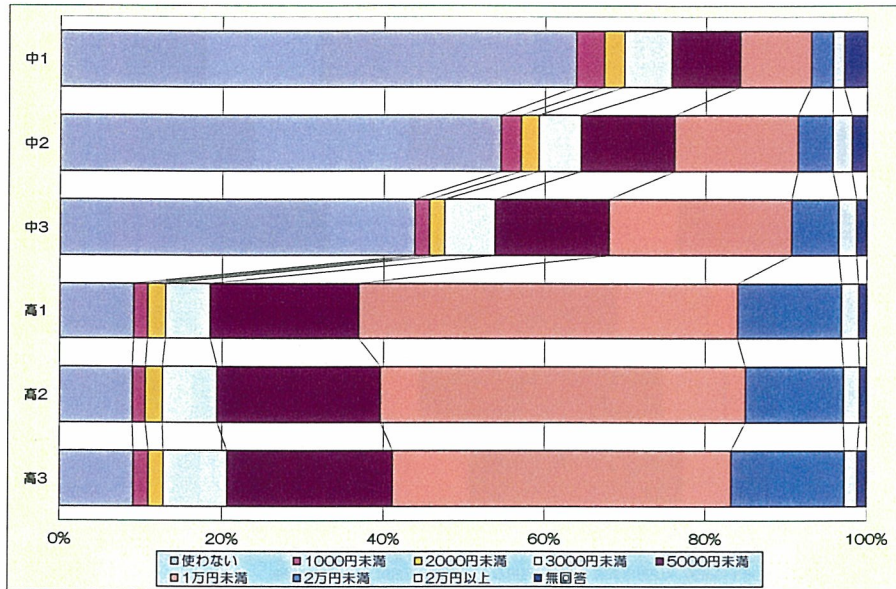
月平均こづかい（男子）



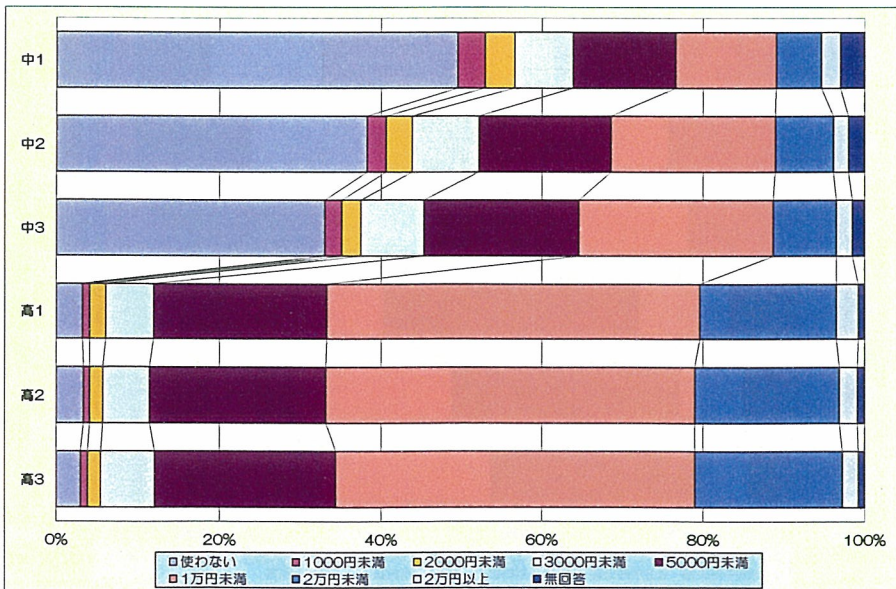
月平均こづかい（女子）



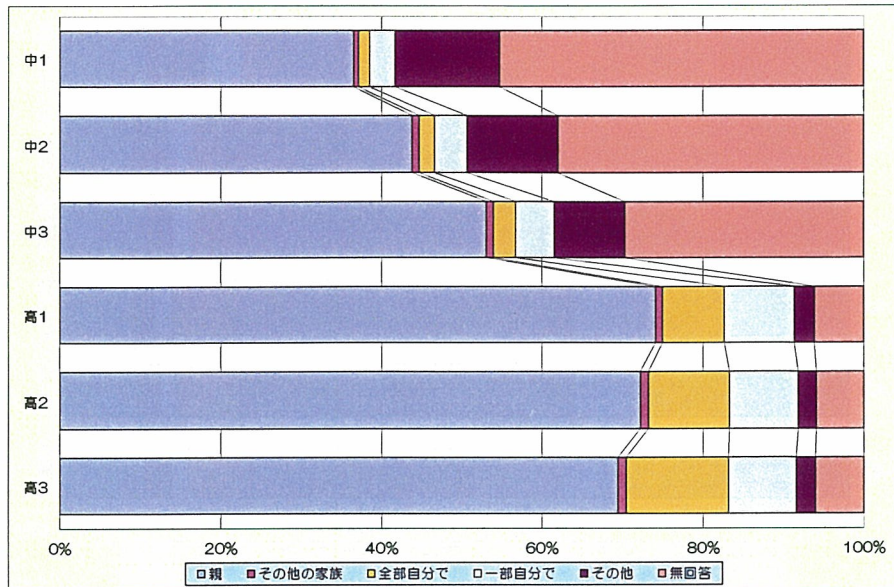
月平均携帯電話代（男子）



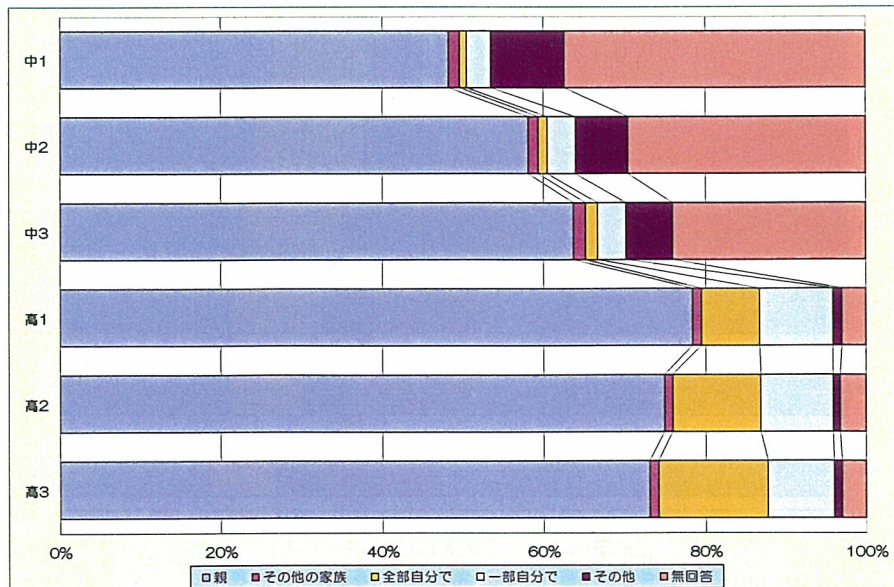
月平均携帯電話代（女子）



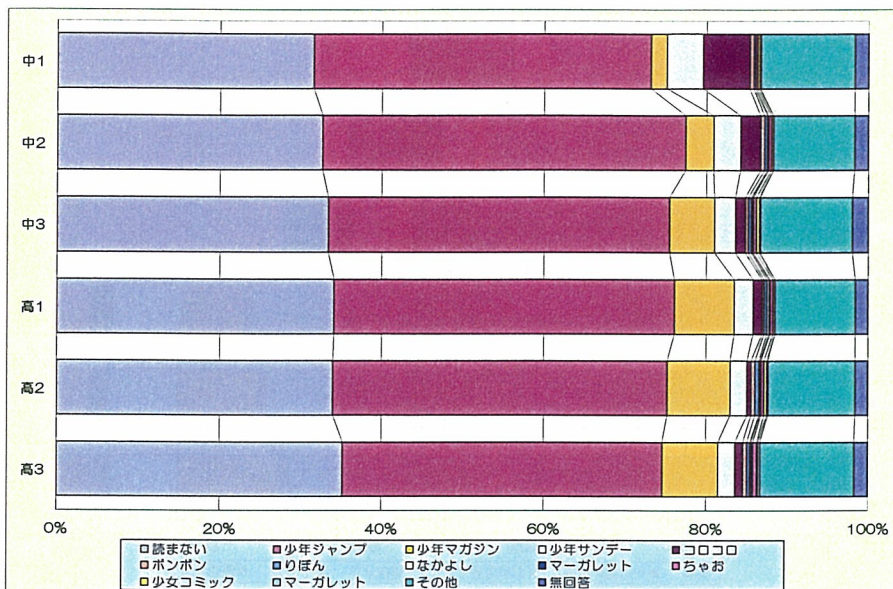
携帯電話の支払い者（男子）



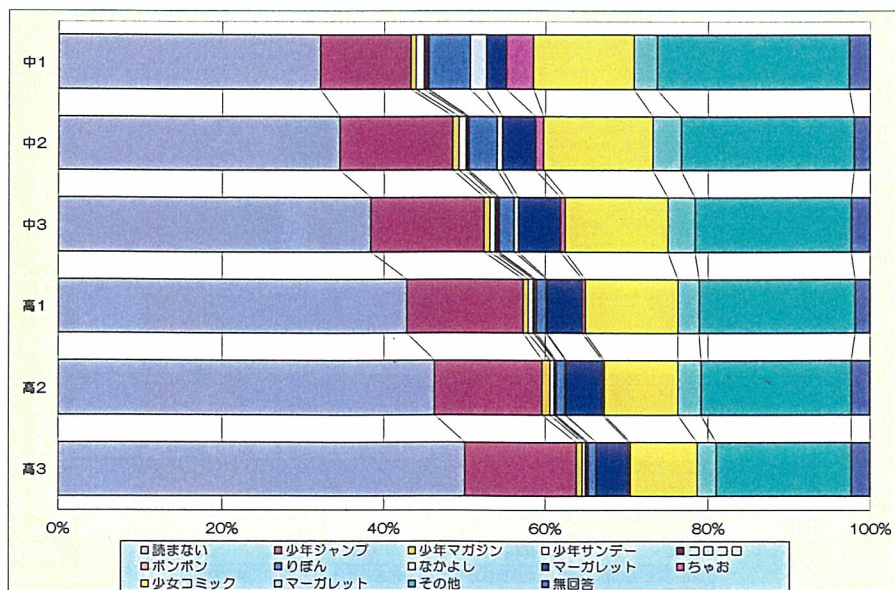
携帯電話の支払い者（女子）



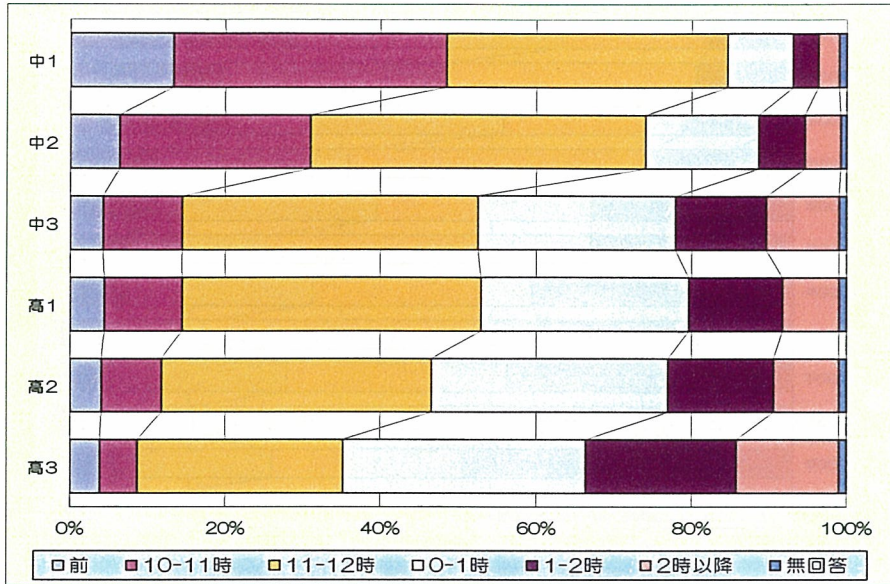
好きな漫画雑誌（男子）



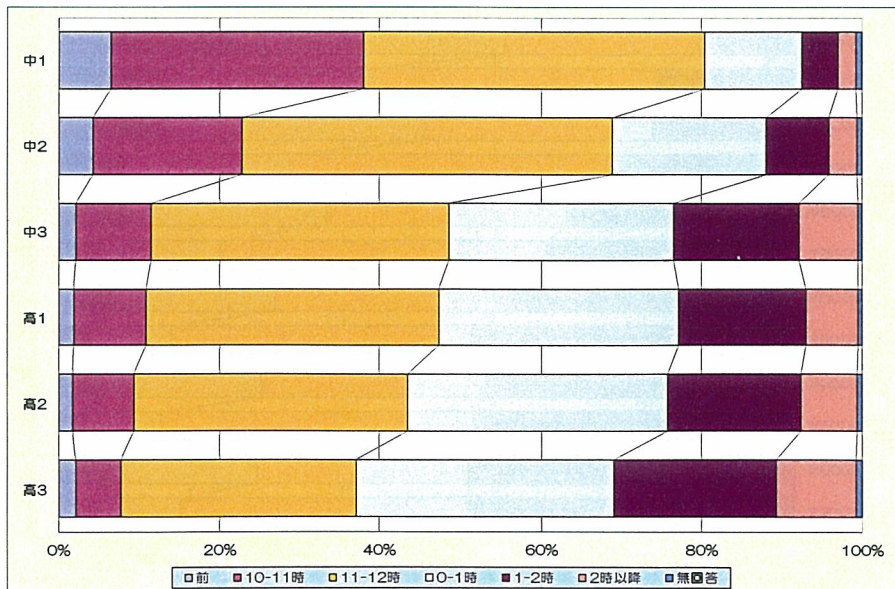
好きな漫画雑誌（女子）



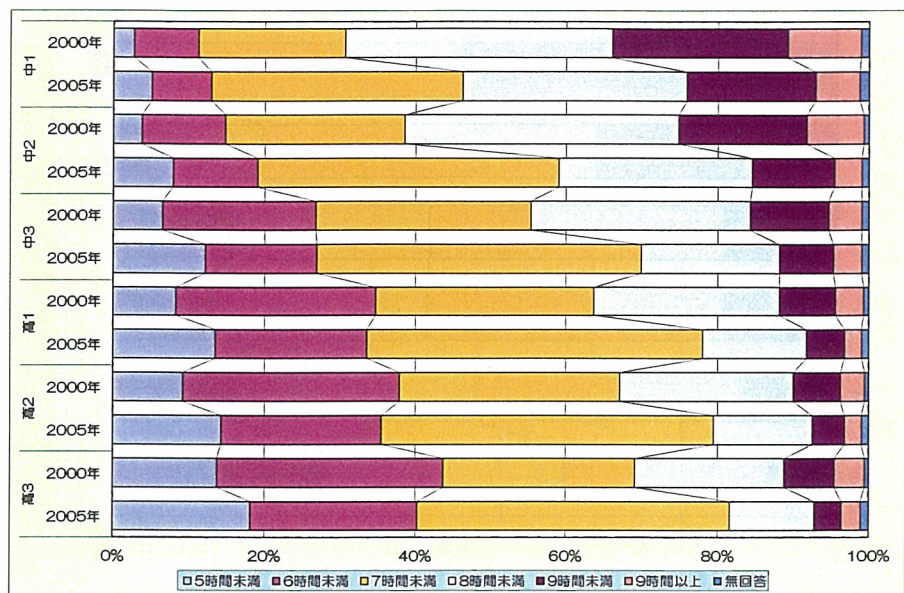
平均就寝時間（男子）



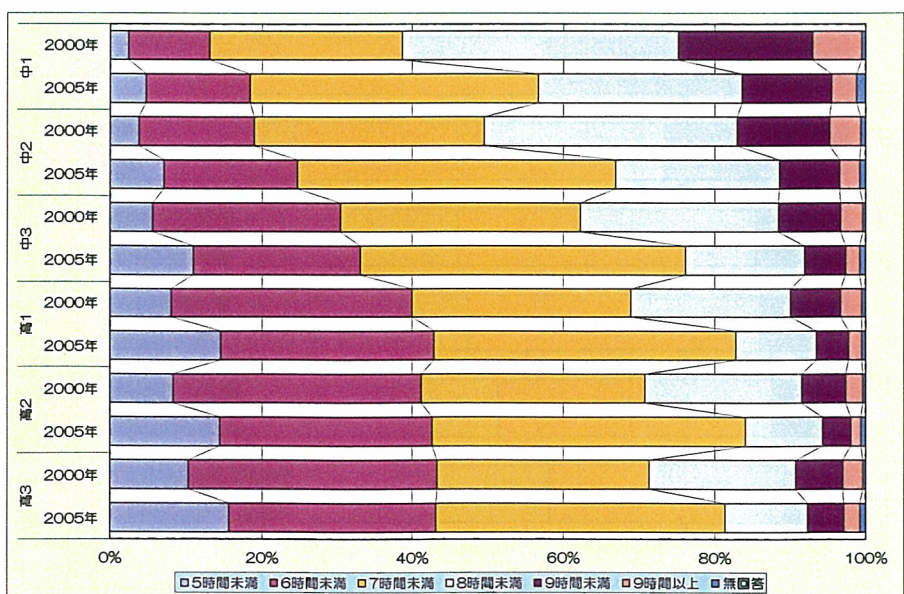
平均就寝時間（女子）



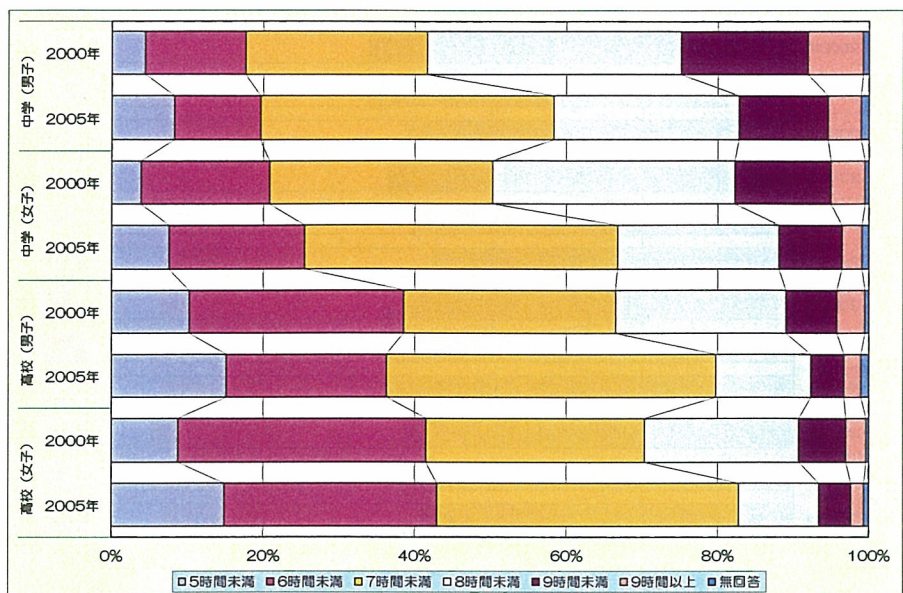
年次別、学年別 この30日間の平均睡眠時間（男子）



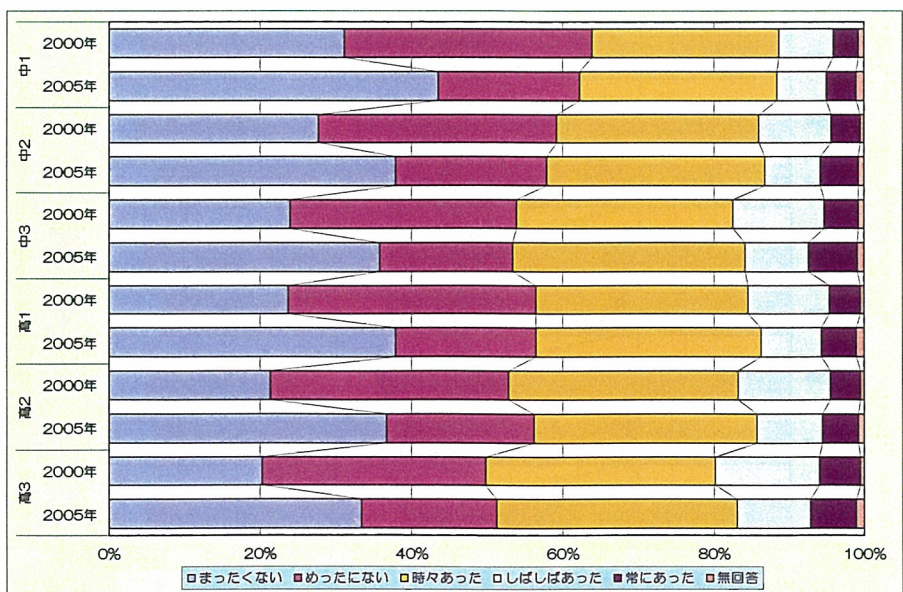
年次別、学年別 この30日間の平均睡眠時間（女子）



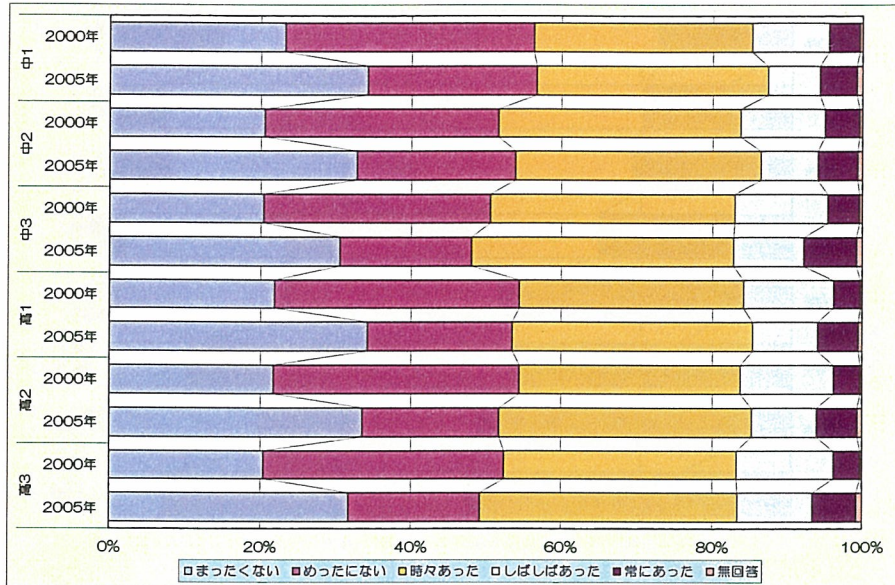
年次別、性別、この30日間の平均睡眠時間（合計）



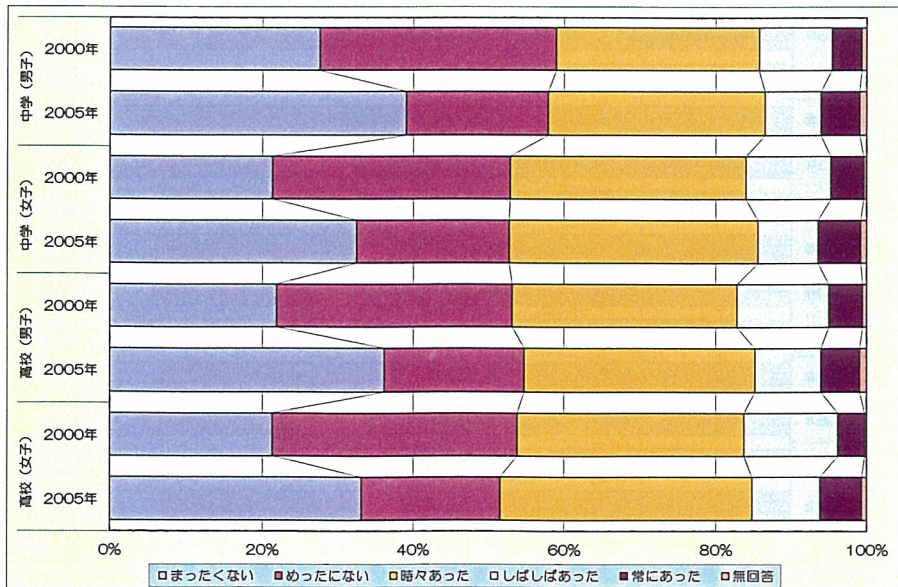
年次別、学年別 この30日間の寝つきにくい頻度（男子）



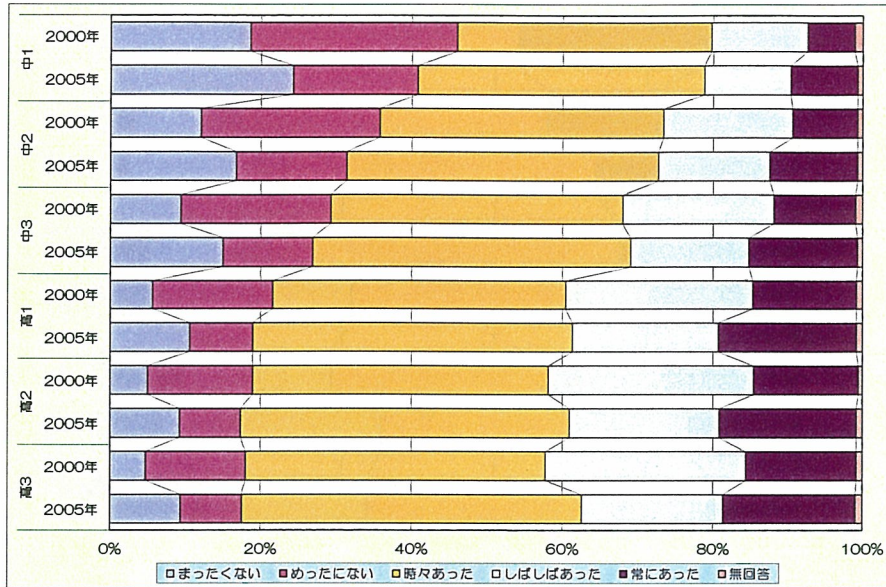
年次別、学年別 この30日間の寝つきにくい頻度（女子）



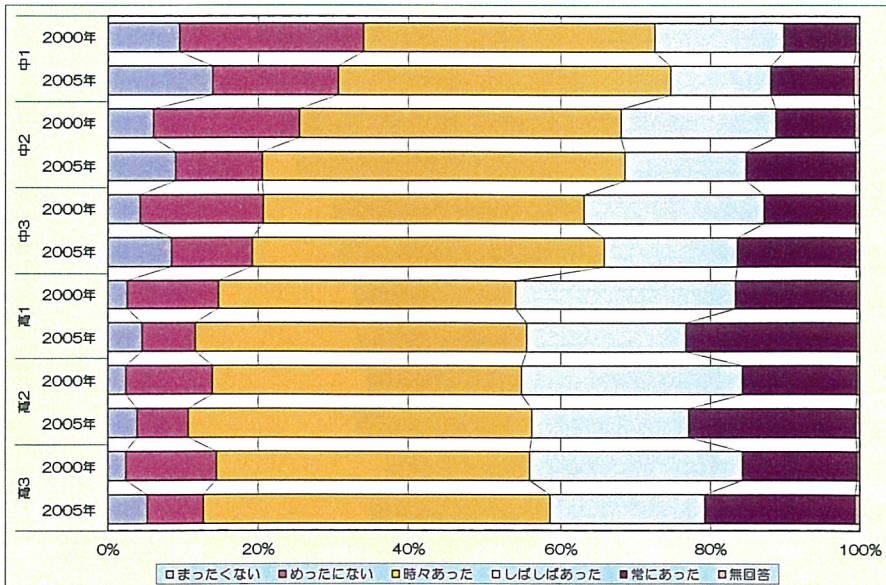
年次別、性別 この30日間の寝つきにくい頻度（合計）



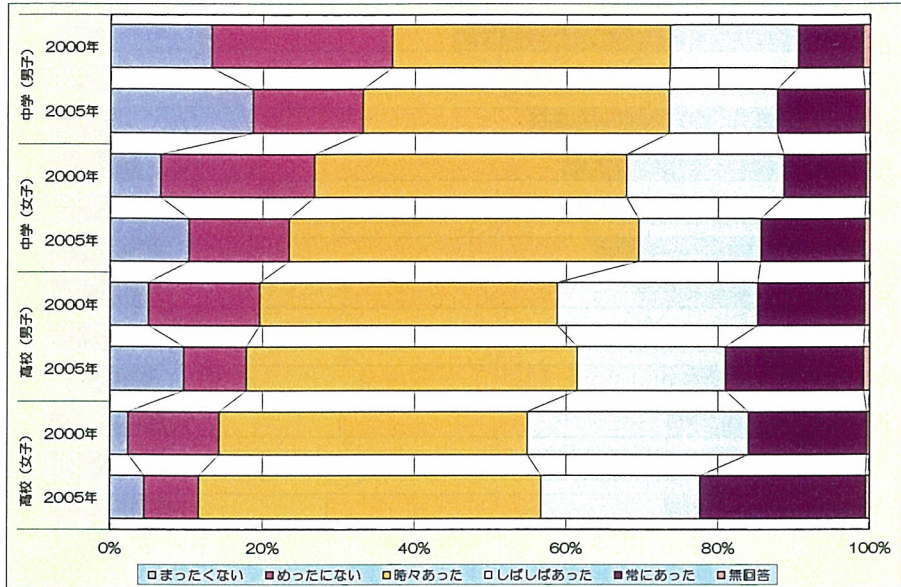
年次別、学年別 この30日間の昼間の眠気を感じる頻度（男子）



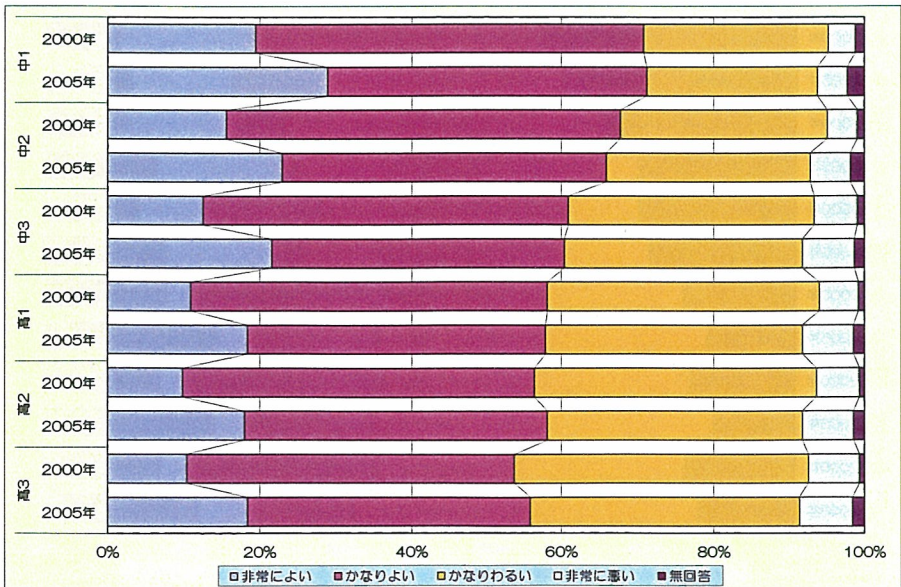
年次別、学年別 この30日間の昼間の眠気を感じる頻度（女子）



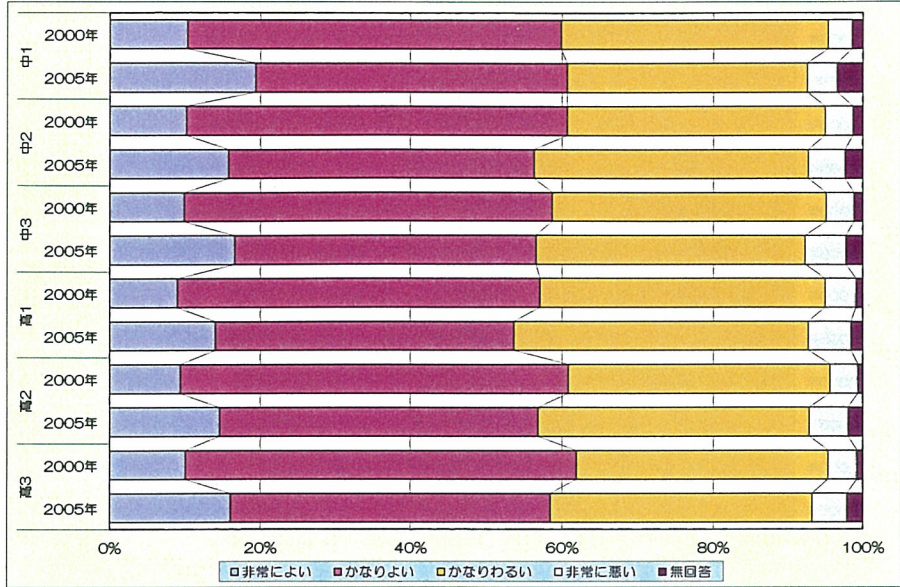
年次別、性別 この30日間の昼間の眠気を感じる頻度（合計）



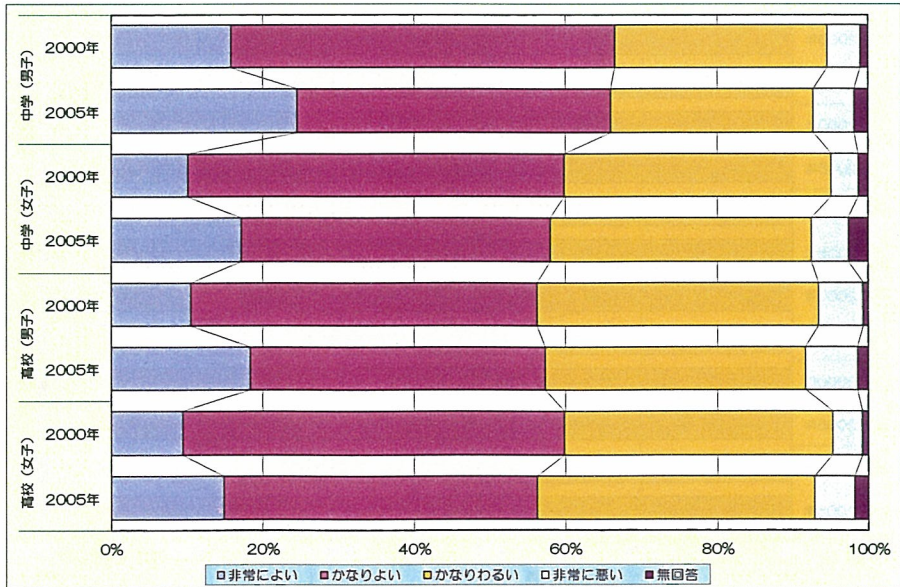
年次別、学年別 この30日間の睡眠の質の自己評価（男子）



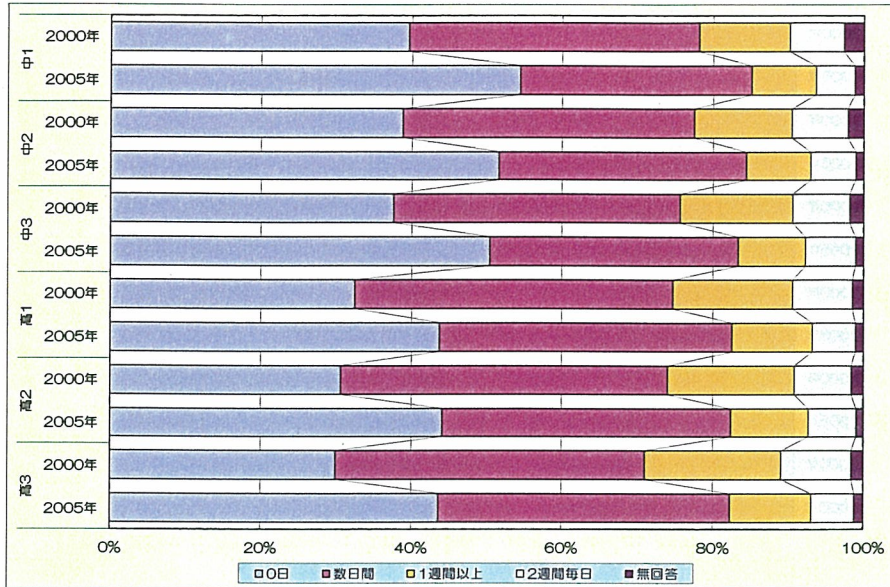
年次別、学年別 この30日間の睡眠の質の自己評価（女子）



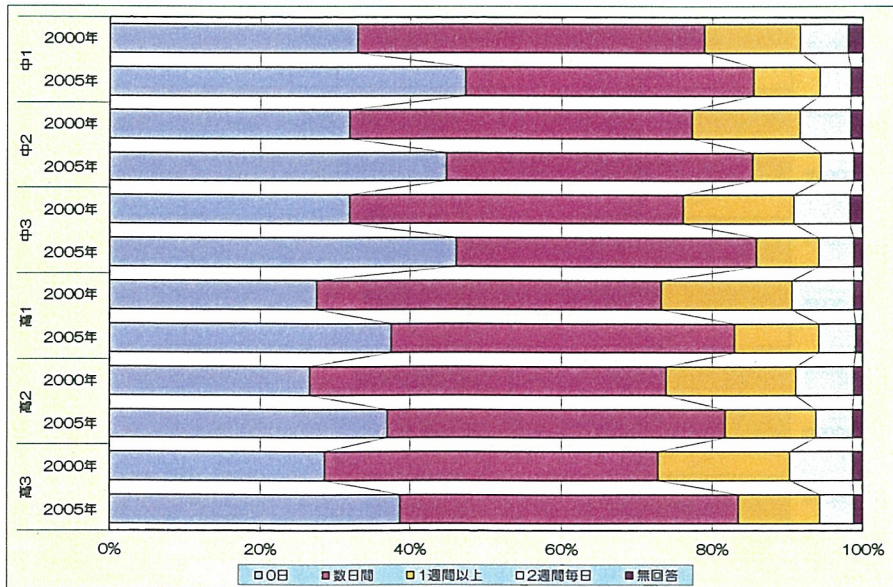
年次別、性別 この30日間の睡眠の質の自己評価（合計）



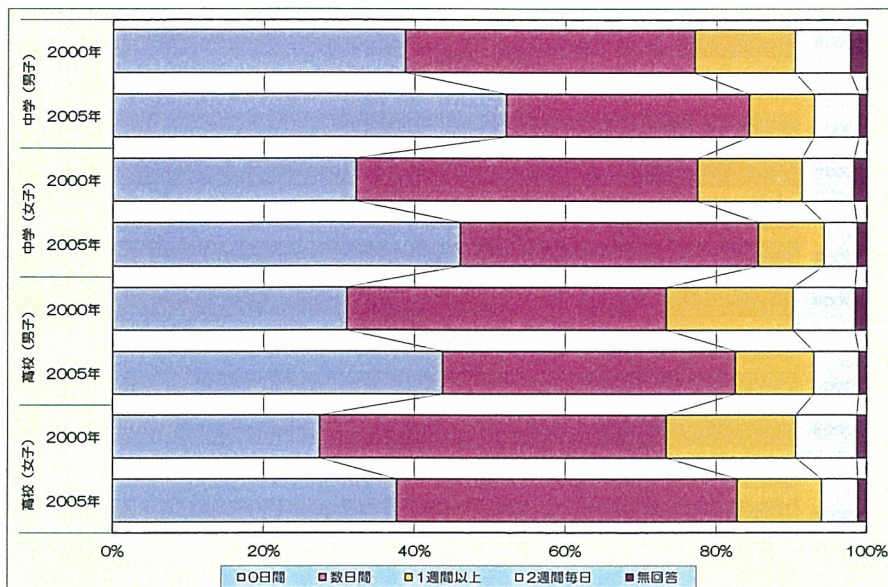
年次別、学年別 この2週間の興味や楽しみが持てなかった頻度（男子）



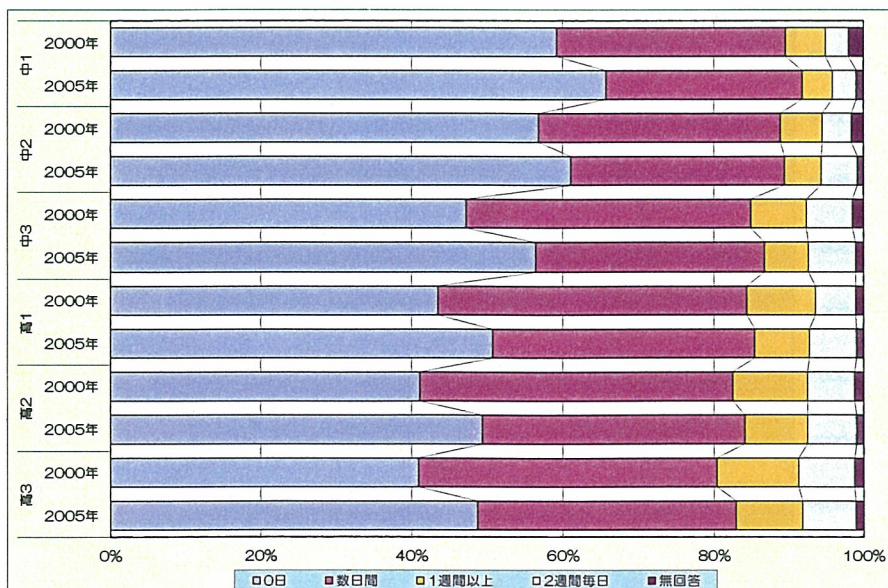
年次別、学年別 この2週間の興味や楽しみが持てなかった頻度（女子）



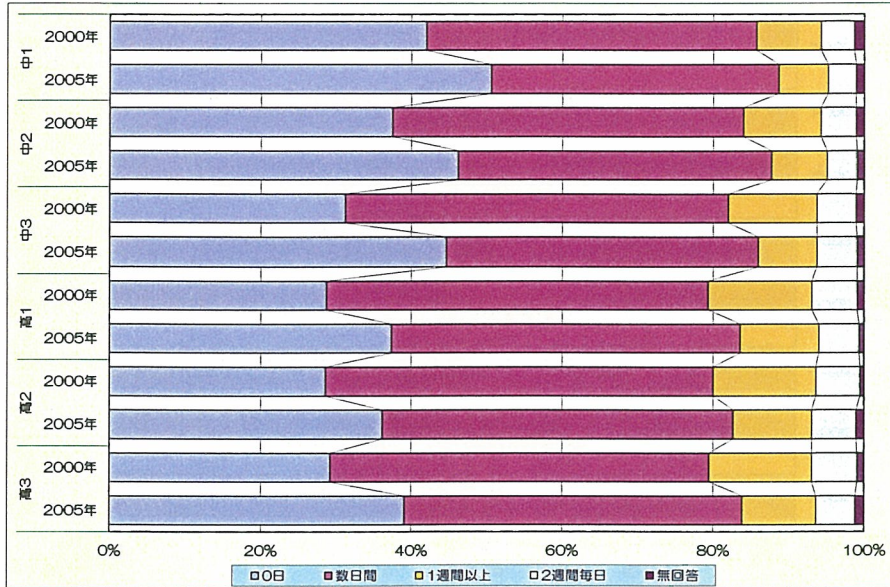
年次別、性別 この2週間の興味や楽しみが持てなかった頻度（合計）



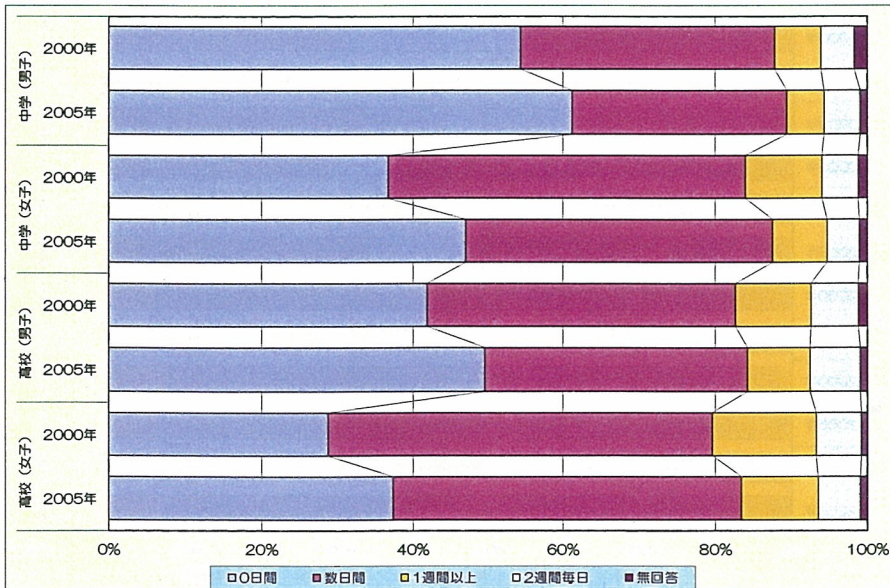
年次別、学年別 この2週間で気分が落ちこんで、希望をなくした頻度（男子）



年次別、学年別 この2週間で気分が落ちこんで、希望をなくした頻度（女子）



年次別、性別 この2週間で気分が落ちこんで、希望をなくした頻度（合計）



未成年者を含むたばこ対策に関する意識等に関する実態調査

国立保健医療科学院 研究情報センター たばこ政策情報室

○目的

たばこ対策において、喫煙と健康に関する知識、公共空間禁煙など受動喫煙防止対策に関する意識、またたばこ価格と喫煙意識等について、現時点での国民の意向を反映した代表性のあるデータを收拾するため、世論調査として定評があり、技術・経験を有する団体に委託して調査を実施した。

○方法

社団法人中央調査社による、2006年度個人オムニバス調査を活用した。同調査は、毎月実施されているが、層化二段無作為抽出法による全国市区町村（157地点）における20歳以上の男女個人（標本数は各回2,000）を対象とした対面式の調査である。

調査は、2007年1月～3月において、添付の調査票に基づき実施された。

○結果

回答状況は、1月1,461（68.6%）、2月1,401（65.8%）、3月1,449（68.1%）、計4,331（67.5%）である。なお、結果の詳細については、単純集計を添付として示す。

<備考>

・本調査で得られた、特に価格へと喫煙意識等のデータについては、3回の調査で共通で行っている。そのため、N数の少ない喫煙者における各属性についても評価を行いやすくしている。そのデータは、価格上昇の影響を検討する、厚生労働科学研究費補助金による別の班（土井班など）にも共有を図り、適宜分析に用いることとしている。

・また、2月調査において、加濃式社会的ニコチン依存度質問票（KTSND）の項目に準じた項目による調査を実施している。詳細、特に未成年者での反応について、同質問票のワーキンググループメンバーである、大谷哲也（群馬大学大学院医学研究科社会環境医療学講座生態情報学分野（公衆衛生学）助手）に依頼し分析を行ったので、その概要についても添付する。